

第151回 ベンチャープラザ二月会発表企業紹介  
(令和4年7月11日(月)発表)

■発表企業

会社名	株式会社 KLeon (クレオン)	
代表者	CEO ジン・スンヒョク	
発表者	日本法人代表 崔 耿美(チェ キョンミ)	
事業名	インタラクティブなデジタルヒューマン制作・自動吹替ソリューション	
キャッチフレーズ*	We Build a World Closer Than Ever. 「今までない、身近な世界を作る」	
商品の概要	<p>当社が開発したインタラクティブなデジタルヒューマンは、データのインプットが少なく済み、処理が速く、しかも高品質です。また、自動吹替ソリューションは話者の声と口の動きを合わせた吹替音声の自動生成を、低価格で実現しました。</p> <p>&lt;インタラクティブなデジタルヒューマン&gt;</p> <p>①ほぼリアルタイムの実装と高品質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業イメージに合わせた製品を早くて簡単にカスタマイズされたUXを元に多様な形で具現</li> </ul> <p>②少量のインプットデータと早い処理時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真一枚、音声 30 秒のデータで、短時間でデジタルヒューマンを構築</li> <li>・好みの顔・音声だけではなく、体型までカスタマイズし、自由度や質の高さを実現</li> </ul> <p>&lt;動画の自動吹替ソリューション&gt;</p> <p>①声優なしでの吹替</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30秒の音声データで多言語を生成し、海外展開のローカライズのハードルを下げる</li> </ul> <p>②画期的な時間短縮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映画1編(120分)の吹替を3日間で完結</li> </ul> <p>③コストダウン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業(B)のみならず、個人客(C)までリーズナブルな料金で吹替可能</li> </ul>	
発表目的	②販路拡大・事業提携獲得	

会社名	株式会社 K L D	
代表者	代表取締役 伊東 健太	
発表者	代表取締役 伊東 健太	
事業名	リユースプラットフォームサービス「mesee」	
キャッチフレーズ*	リユースに関わるすべての事業者のデジタル化を支援します。	
商品の概要	<p>モノを売りたいリユース事業者と、モノを売りたいエンドユーザーとのマッチングプラットフォームサービス「mesee」です。</p> <p>非対面での本人確認、リユース品特有のオペレーションの煩雑性からリユース事業者のデジタル化への障壁は非常に高く、結果としてリユース市場規模が拡大している現在においてもリユース事業者の成長は停滞しています。</p> <p>リユース事業者はmeseeを用いることで各種法令を遵守したデジタルでのリユース取引を簡単に、初期コスト無しで提供することができます。</p> <p>また、モノを売りたいエンドユーザーは、mesee内で様々なリユース事業者と出会うことができます。取引相手はすべて古物商を取得したリユース事業者という点でメルカリ等のフリマアプリと異なり、安心のリユース取引を提供します。</p> <p>本サービスは現在開発中であり、2022年7月にβ版のリリースを予定しています。</p>	
発表目的	①資金調達	

会社名	株式会社バズグラフ	
代表者	代表取締役 西本 光治	
発表者	代表取締役 西本 光治	
事業名	文章要約AI タンテキ	
キャッチフレーズ	文章を知的に、もっと端的に。「文章要約AI タンテキ」	
商品の概要	<p>テキストデータの情報収集の時間を大幅に削減できるサービス「文章要約AI タンテキ」をご紹介します。昨今のコロナ禍では、新型ウイルスに関して沢山の情報が飛び交う中「どの情報が正しく、必要であるか」取捨選択を迫られる日々でした。</p> <p>瞬時に必要な情報を得ることを求められても、世の中に存在する膨大な数のテキストデータを全ての情報に目を通すことは不可能に近く、未だ有効活用できていない世の中に必要なテキストデータたちが多く眠っていると私たちは考えました。そこで、少ない時間の中で全ての情報に目を通すことができ、世の中に必要なテキストデータを有効化できるよう、私たちは独自の自然言語処理エンジンを駆使し、膨大なテキストデータの分析や、取捨選択に活用いただけるよう「文章要約AI タンテキ」を開発いたしました。</p>	
発表目的	②販路拡大・事業提携獲得	

会社名	一般財団法人ふきのごえん	
代表者	代表理事 國貞 憲太郎	
発表者	代表理事 國貞 憲太郎	
事業名	街なかポストラライフサロンプロジェクト	
キャッチフレーズ	お墓以上に、故人との良いご縁を紡ぎつづける「ふきのごえん」	
商品の概要	<p>当財団は、「ポストエンディング事業(包括的な終活事業)」を通じた社会貢献の実現を目的に、昨年5月、宮崎市に設立しました。現在は同市内にて当事業計画の実現に向け鋭意作業等を行っています。</p> <p>今回、私たちは新たな発想に基づいた墓地事業を提案します。このサービスには利用者にとって従来モデルとは異なる大きな下記の4つの利点があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 完全宗教不問、個人の自由選択型(宗教家のネットワークを構築)</li> <li>2 サブスクリプション料金の導入、IT等を活用した情報共有</li> <li>3 ポータビリティ(お遺骨移動管理)</li> <li>4 参拝、利用等の高い利便性(交通移動面、心地よい空間の提供等)</li> </ol> <p>以上を主軸とした墓地関連サービスを全国拠点都市にて展開したいと考えています。また、透明性の高い事業運営により、墓地ビジネスの改革を行いたいと考えます。</p>	
発表目的	①資金調達、③経営パートナー獲得	